

墨彩 ■ ともに生きるいのちたち



戦いのあと——相馬野馬追 米倉 兌

福島の画人 米倉 兌・廣長威彦 展



風土の家並みを描いて——50年

版画 ■ 待春／会津西街道大内宿 廣長威彦

主催 仙北市 仙北市教育委員会
 協力 ルネッサンス・角館
 後援 秋田魁新報社 朝日新聞秋田総局 毎日新聞秋田支局 読売新聞秋田支局
 産経新聞秋田支局 日本経済新聞社秋田支局 河北新報社 福島民報社
 福島民友新聞社 いわき民報社 ABS秋田放送 AKT秋田テレビ
 AAB秋田朝日放送 エフエム秋田 福島テレビ 福島中央テレビ 福島放送
 テレビユー福島

【入館料】 一般（高校生以上）300円（中学生以下無料）※20名以上は団体割引有

2012 6月30日(土) — 9月10日(月)

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

仙北市立 角館町平福 記念美術館

秋田県仙北市角館町表町上丁4-4 TEL 0187-54-3888

トーク・絆 「画家が語る作品の周辺」

廣長威彦氏・米倉みなと氏（司会進行：ルネッサンス・角館）
 6月30日（土）午後1時30分～ 会場：角館町平福記念美術館カルチャールーム

米倉 兌 よねくら とおる

少数民族／南船北馬



将を射て／応仁の乱

<画歴> 1913福島市で誕生／'32仙台商業学校卒。神戸洋画研究所に入門、二科会員浜田葆光に師事、併せて水彩画を日本水彩画会・一水会員別車博資に学ぶ／'34～'42二科展連続入選／'40文部省皇紀二千六百年奉祝展招待出品、神戸市で個展、神戸在住中は日本水彩画展全関西展にも出品／'47～'68福島市で油絵個展／'47～'72福島県立高校美術教諭／'67福島市で初の水展「寒山拾得絵巻」／'72訪欧／'72～'92三越本店・各店で「草枕」「おくの細道」「山湯去来」「相馬野馬追」「陸奥山河」「羽越有情」「京第一輯」「南船北馬」「応仁の乱」「四季折々」などの墨彩展／'90銀座和光で「ともに生きるなかまたち」墨彩展／2000福島市で87才にて死去



うぐいす／京第一輯

廣長 威彦 ひろなが たけひこ

相倉合掌集落・春景／富山



肥後不知火・潮見坂／熊本



<画歴> 1935福島県郡山市生まれ。現在居住。'60合掌造り写生を機に全国の民家取材に入る。'83東北の民家百展・宮城仙台／'84～'99民家シリーズ版画展・横浜・福島／'86ふるさとの民家百展・東京銀座／'94民家との出会い35年展・福島／'95日本の町並みと集落再見展・東京新宿／'99合掌民家への想い展・岐阜白川郷／'00日本名残りの家並み展・角館／'03版画民家風土記展・福井越前／'03民家風土記展・郡山／'07郡山近在・日本一の農村風土景を描く展・郡山／'11「原点帰帰1960-2011」油彩画展・郡山 <無所属>

平成23年3月11日に発生した東日本大震災。宮城県、福島県、岩手県を中心にたくさんの方達が被災されました。その日から1年以上の月日が経過しましたが、現在もお復興に向けて日本全体が戦い続けています。

このような状況の中で、仙北市として少しでも東北が元気になるようなお手伝いができればと考えました。当美術館では、これまで地元秋田の作家を中心にした展覧会を多く開催してきましたが、平成12年に福島県出身の画家・廣長威彦先生（1935～）の展覧会を開催したこともあり、今回、廣長先生のご協力をいただき、廣長先生の作品ともうお一人、先生と親交のあった故米倉兌先生（1913～2000）の作品をご紹介させていただく機会に巡り会えました。

廣長先生は1960年から全国の風土の町並みと集落を50年来現地取材し、記録として残すため、油彩・水彩・版画で作品を制作発表しています。また米倉先生は墨彩で奥の細道や相馬野馬追、洛中洛外シリーズ、更に南船北馬の中国シリーズなどを全国で発表しておられます。

廣長先生と米倉先生との関わりは、同じ画家として20数年來の親交を重ね、米倉先生も幾度か角館を訪れ取材されています。

福島ご出身の両作家の展覧会を開催することで、福島を始めとして東北の方達の心がほんの少しでも暖かくなるお手伝いができればと強く願っています。

交通アクセス

- JR利用
東京-角館(新幹線)約3時間10分
仙台-角館(新幹線)約1時間30分
盛岡-角館(新幹線).....約45分
秋田-角館(新幹線).....約45分

JR角館駅より徒歩25分
国道46号線沿い角館武道館後ろに駐車場があります。



仙北市立 角館町平福記念美術館

〒014-0334 秋田県仙北市角館町表町上丁4-4 TEL 0187-54-3888